

南アフリカ為替週報

2022年7月28日 | みずほ銀行欧州資金部

＜過去4週間の動き＞

(6月30日～7月27日)

USD/ZAR: 16.1750～17.3000

ZAR/JPY: 7.99～8.42 (参照値)

過去4週間の南ア・ランド相場は、対ドルで、急落が先行。14日までに23ヵ月ぶりの安値を更新する17.3000まで下落し、その後、底打ち反転に転じた。この間のランドの値動きには、南ア国債動向が色濃く影響したように見えた。ランド建10年物南ア国債は19日までほぼ一方的な下落を続け(利回りは上昇)、27ヵ月ぶりの安値(利回りにして11.57%前後)を更新した。国債急落の背景には、非居住者投資家の南ア投資資金流出があった模様だが、その背景には主要国(米、ユーロ圏など)の利上げを契機とした資金回金(主要通貨で運用しても十分な利回りが確保できるとの判断)の潮流があったものと考えられた。国債価格反発は、南ア6月CPIの上振れ(20日)、南ア準備銀金融政策委員会による予想を上回る利上げ(21日)などを契機としたように見えた。いずれも金利上昇要因なのは皮肉なことだが、市場は「南ア準備銀の積極的な利上げ(利上げ前倒し)が南ア物価抑制に奏功する」との読みで、国債を買い上げた模様。ただし、南ア国債下落と並行したランド下落との比較で、同国債の反発幅の割にランドの反発が弱かったのは、並行したドル全面高に加え、引き続き収拾の目途が立たない計画停電が重石になった結果と考えられた。

＜過去4週間に発表された主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
6/30	6:00	民間部門信用(前年比)	5月	+5.34%	+5.58%	+5.87%r
	12:00	貿易収支(ZAR)	5月	+28.3bn	+26.3bn	+16.0bnr
	12:00	財政収支(ZAR)	5月	-17.1bn	-19.0bn	-45.2bn
7/1	11:39	自動車販売統計(前年比)	6月	+7.6%		+2.1%
7/7	6:00	総外貨準備高(USD)	6月	58.92bn		59.26bn
7/12	11:00	製造業生産(前年比)	5月	-2.3%	-2.6%	-7.6%r
7/13	11:00	小売売上高(前年比)	5月	+0.1%	+2.0%	+4.3%r
7/14	9:30	鉱業生産(前年比)	5月	-7.8%	-10.9%	-14.8%r
7/20	8:00	CPI(前年比)	6月	+7.4%	+7.3%	+6.5%
7/21	13:17	南ア準備銀レボ金利		5.50%	5.25%	4.75%

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

＜向こう2週間の見通し＞

(7月28日～8月10日)

USD/ZAR: 16.150～16.950

ZAR/JPY: 8.10～8.40

向こう2週間の南ア・ランド相場は堅調を予想。南ア10年国債利回りは、(一旦の?)天井を打ったとは言え未だ11%に前後する高水準。物価も上昇してはいるものの、早ければ7月にも頭打ちする可能性が高い。現行+3.6%という実質利回り(利回り-CPI)には相応の投資妙味が見出せるのではないか。一方で、米連銀7月公開市場委員会における75b.p.利上げ(注)を受け、ドル全般が調整局面入りする可能性も低くはないように思われる。7月25日にラマポーザ大統領が発表した南ア電力改革計画(とりわけ再生可能燃料に力点を置いた発電能力の拡充)は、その進捗の遅さに歯痒さは拭えないものの、計画自体は前向きに評価できる。7月24日までに結果が明らかになった与党アフリカ民族会議(ANC)のクワズール・ナタール州支部長選で、ズマ前大統領派の候補が当選したのは、ラマポーザ大統領にとっては残念な結果だったはずだが、(ズマ前大統領派の牙城である同州で)予想されていた結果。現在までに他の主要州(リンボポ州、東ケープ州、ムブマンガ州)ではラマポーザ大統領派が着々と地歩を固めており、年末(12月)の党首選における再選は勿論、党6役の大半がラマポーザ大統領派で固められるとの見方が強い。ラマポーザ大統領自身にかけられた汚職嫌疑の動向には引き続き留意が必要なものの、現状は、南ア経済の今後にも、ランドにとっても、前向きに評価できる環境と言えよう。

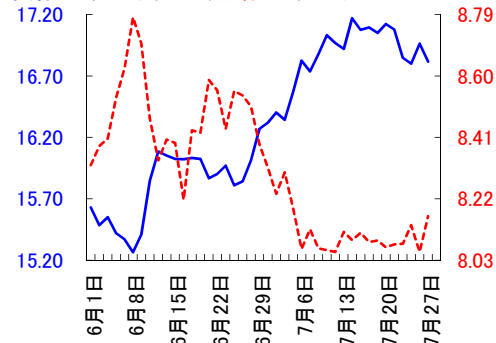
＜向こう2週間に発表予定の主要経済指標等＞

月日	GMT	指標	期間	発表	予想*	前回
7/29	6:00	民間部門信用(前年比)	6月		+5.86%	+5.34%
	12:00	貿易収支(ZAR)	6月		+21.2bn	+28.3bn
	12:00	財政収支(ZAR)	6月		+81.0bn	-17.1bn
8/1		自動車販売統計(前年比)	7月			+7.6%
8/7	6:00	総外貨準備高(USD)	7月			58.92bn
8/8-8/16		企業景況感指数	7月			

(*予想はブルームバーグ社予想中心値)

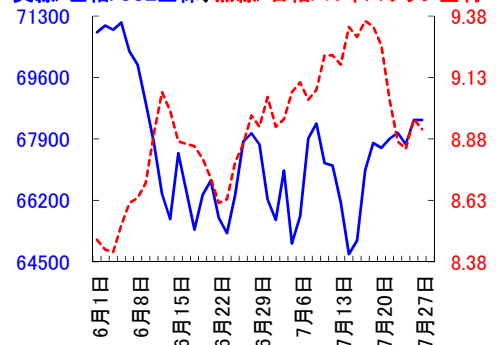
為替相場の推移(資料: ロイター)

実線/左軸: 対米ドル、点線/右軸: 対円



株式/長期金利の推移(資料: ブルームバーグ)

実線/左軸: JSE全株、点線/右軸: 10年スワップ金利



南アフリカ関係主要経済指標

政策金利(レボ金利)		5.50%
長期金利(10年スワップ)	7月27日	8.920%
株価指数(JSE全株)	7月27日	68424.97
成長率(GDP/前年比)	Q1	+3.0%
経常収支(ZAR)	Q1	+143bn
失業率	Q1	34.5%
消費者物価(前年比)	6月	+7.4%
小売売上高(前年比)	5月	+0.1%
製造業生産(前年比)	5月	-2.3%
鉱業生産(前年比)	5月	-7.8%
貿易収支(ZAR)	5月	+28.3bn
金価格(ロンドン17:00)	7月27日	1718.92

＜お知らせ＞

筆者休暇のため、次回の「南アフリカ為替週報」の発行は8月11日を予定しております。ご迷惑をお掛けし大変申し訳ありませんが、よろしくご諒承ください。

(注) 7月27日の米連銀公開市場委員会に向けては市場の概ねが75b.p.利上げを予想していた

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。